

7735 スクリーン HD 20/3Q1 決算説明会メモ 新規アウトパフォーム

20/3 期は米中摩擦で期初計画減額も半導体製造装置事業の収益性改善し来期収益上伸へ

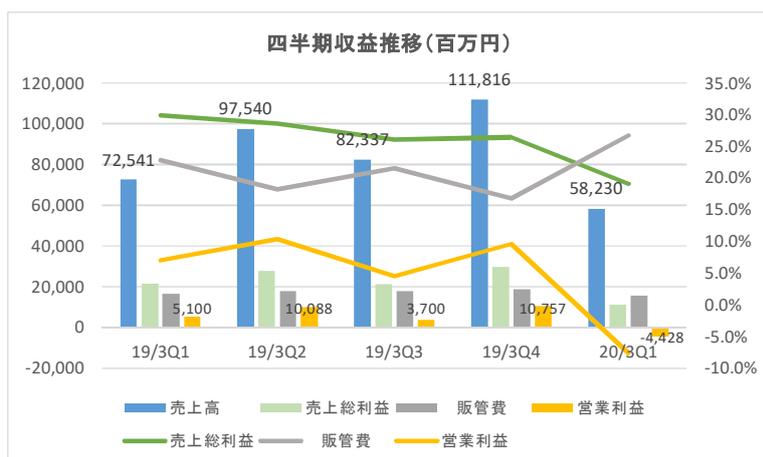
株価 5760 円 (8/5) 時価総額 2916 億円 (8/5) 発行済株 50795 千株 (8/5)
 PER (21/3DO 予 : 8.9X) PBR (1.57X) 配当 97.00 円 配当利回り : 1.7%

要約

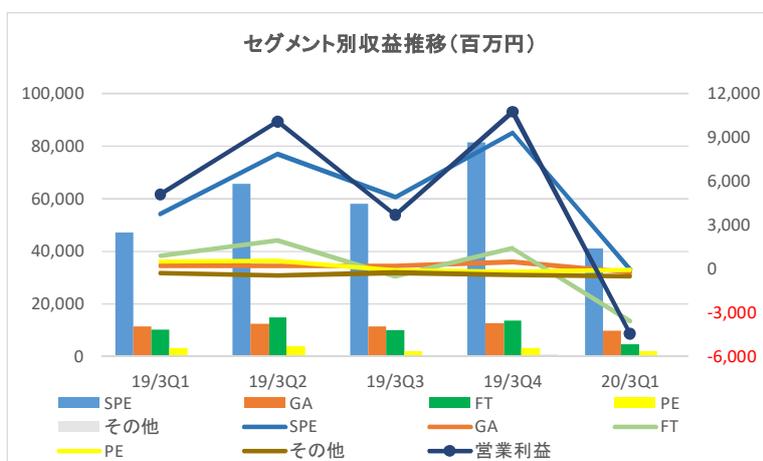
- ・ 20/3Q1 は半導体設備投資低迷で大幅減収から営業損失も Q1 の SPE 受注は 600 億円確保
- ・ 20/3 期は米中摩擦で 11%減収 15.7%営業減に計画減額も、受注が想定上回りに来期に期待
- ・ 21/3 期は先端半導体、車載向け、5G 拡大など高付加価値品構成比アップで収益上伸へ
- ・ 株価は 21/3 期 DO 予想 EPS642 円に対し PER20 倍の 12800 円目標

20/3Q1 は半導体設備投資低迷で大幅減収から営業損失も Q1 の SPE 受注は 600 億円確保

20/3Q1 業績は売上高 582.3 億円 (19.7%減)、営業損失 44.28 億円 (95.28 億円悪化)、経常損失 42.85 億円 (93.93 億円悪化)、税引損失 29.18 億円 (64.84 億円悪化) と、なった。全事業で減収、減益となったのは 7 年ぶりで、大幅減収により、赤字転落に。



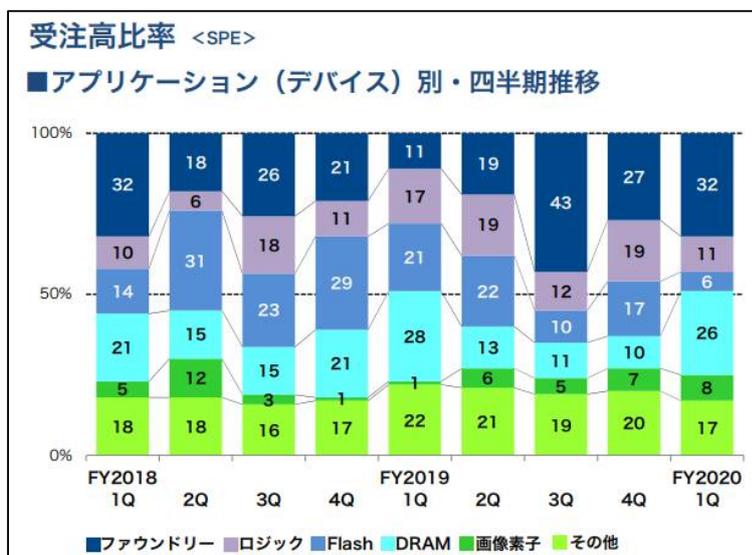
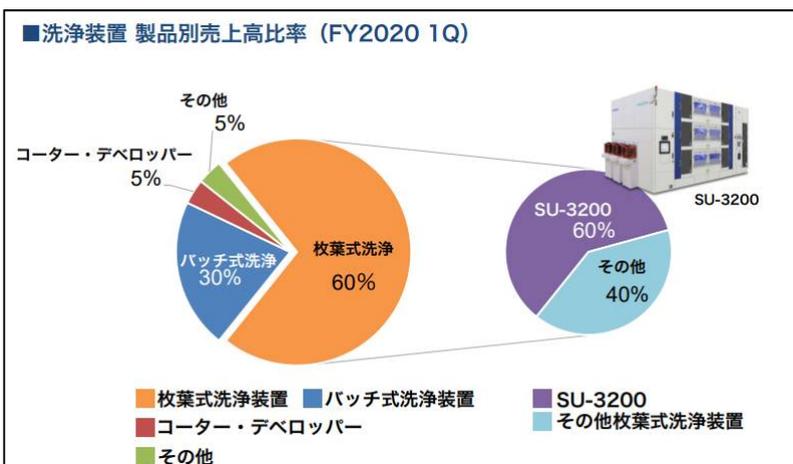
セグメント別では SPE が売上高 582 億円 (12.6%減)、営業損失 (37 億円減) と、ファンドリー、ロジックが増加もメモリ向け大幅減少で、減収効果と変動費比率アップで営業損失に。但し先端枚葉洗浄装置 SU-3200 は若干の減収にとどまっている。GA (グラフィックアーツ機器) は CTP 装置



置など不振で 14.3%減収、営業 2 億円損失ながら、コスト削減で営業損失は 4 億円程度少

なめに止まる。FT(ディスプレイ装置、成膜装置)は大型案件下期にずれ込み53.6%減収、営利損失35億円(44億円減)と厳しい。PE(プリント基板関連機器)は描画装置の売上減が響き34.7%減収、営利ゼロ(5億円減)となった。結果として全セグメント営業損失となる。

収益状況が厳しいなかで、受注については明るさもある。全体では885億円(前年同期比27.8%増、Q4比16.8%増)となっている。事業別では、SPEが600億円(前年同期比18.5%増、Q4比16.8%増)と、主力の枚葉式洗浄装置が台湾向けファウンドリー、中国向けDRAMで大幅増となっている。また3DNANDの大幅減については同社の主力洗浄装置、コーターデベロッパとも使用頻度が大きくないため、大幅減少の環境ながらこれをカバーし、会社想定を上回る受注に。FTも10.5世代LED投資の狭間の中でOLED向け中心に伸長し142億円(前年同期比3.1倍、Q4比3.8倍)に。



20/3 期は米中摩擦で 11%減収 15.7%営利減に計画減額も、受注が想定上回りに来期に期待

会社側では Q1 の収益低迷を受け、上期に利益変動 30%超となる見通しから会社予想を減額修正し、売上高 3240 億円 (30 億円減額、11.0%減)、営業利益 250 億円 (15 億円減額、15.7%減)、経常利益 225 億円 (15 億円減額、23.2%減)、税引利益 170 億円 (10 億円減額、5.9%減) 予想とした。特に上期は売上高 1450 億円 (20 億円減額、14.7%減)、営利 0 億円 (40 億円減額) としており、減額の主要因は GA 事業で米国や中国で CTP などが低迷していること、為替を円高前提に修正にしたこと等である。しかし下期は、生産の急拡大で生じた変動費率の上昇に対し着実に改善されている等で、期初計画を上回る予想となっている。なお、Q1 から Q2 にかけて SPE では TSMC が先端デバイス向けに設備増額の意向を表明するなど、Q1 の 600 億円を上回る受注が見込めること、FT についても OLED 中心に 100 億円を超える受注が見込めるなど、受注環境が強含みのため、売上面での回復もあり下期の収益拡大が見込める。全体として会社修正想定並みの収益達成が可能と判断する。

(億円)	FY2019 通期実績	FY2020 (予想)					
		上期		下期		通期	
		5月発表	7月発表	5月発表	7月発表	5月発表	7月発表
売上高	3,642	1,470	1,450	1,800	1,790	3,270	3,240
SPE	2,525	1,000	1,050	1,200	1,140	2,200	2,190
GA	482	240	215	250	240	490	455
FT	492	165	130	265	330	430	460
PE	123	55	45	65	65	120	110
その他	19	10	10	20	15	30	25
営業利益	296	40	0	225	250	265	250
営業利益率	8.1%	2.7%	0.0%	12.5%	14.0%	8.1%	7.7%
SPE	258	40*	45*	180*	175*	220*	220*
GA	11	15*	5*	25*	25*	40*	30*
FT	37	0*	▲30*	35*	60*	35*	30*
PE	7	0*	▲5*	5*	5*	5*	0*
その他	▲18	▲15*	▲15*	▲20*	▲15*	▲35*	▲30*
経常利益	292	30	▲5	210	230	240	225
親会社株主に帰属する 当期純利益	180	25	▲5	155	175	180	170

注) FY2020 想定為替レート>> 1USドル=105円、1ユーロ=120円 期末配当予想>> 97円
 想定為替感応度 (営業利益ベース) >> 対USドル: 1.1億円、対ユーロ: 0.4億円

21/3 期は先端半導体、車載向け、5G 拡大など高付加価値品構成比アップで収益上伸へ

21/3 期は半導体機器がロジック、車載に加え、メモリも先端 DRAM 向けに加え 3DNAND の設備投資も本格再開される見通しで、SPE の拡大が同社収益を牽引しよう。特にウェット洗浄装置は半導体デバイスの微細化・多様化に伴い、脆弱構造のパターン倒壊抑制、微小パーティクルの制御、異なる新しい材料が採用などで新たな洗浄方法が要求され、半導体製造装置としての重要度が増している。具体的にはロジックデバイスでは 7 ナノ→5 ナノ→3

ナノヘドデザインルールが進展、パターン倒壊を起こさない洗浄・乾燥法が必要である他、EUV利用時に露光不良の発生を防止するために新たに直前の裏面洗浄が必須となる等がある。また 20nm より小さいパーティクルがキラー欠陥になりつつあり、洗浄の重要度が増している。メモリは DRAM で STI(シャロー・トレンチ・アイソレーション)や円柱状キャパシターのアスペクト比がそれぞれ 20、40 以上と大きく、洗浄・乾燥時にリンス水の表面張力でパターン倒壊が生ずる現象が顕在化しており、ベベル (Si ウェーハの端面および周辺の傾斜部) 洗浄なども進化している。同社は洗浄装置シェアトップ企業 (枚葉式で 4 割、バッチ式で 5 割弱) として新製品群を品揃えしており、新製品効果で収益性も高まる見通し。

株価は 21/3 期 DO 予想 EPS642 円に対し PER20 倍の 12800 円目標

同社株価は Q1 決算発表で、収益減額修正ながら受注が好調だったことから株価が上昇、7/25 には年初来高値 6120 円を付け、その後の米中摩擦再激化の中でも比較的下落幅が少なく推移している。同社の半導体製造装置は洗浄工程ということでメモリのダメージが少なく、今後 5G 向け中心に先端デバイス向けが上伸してくると判断、21/3 期は収益拡大が見込める。同社は 5G 普及に向けて恩恵を受ける企業として評価が高まると判断、SPE 以外の収益見通しが厳しい点もあるため 21/3 期 DO 予想 EPS642 円に対し、PER20 倍にあたる 12800 円を目標に新規アウトパフォームとする。

スクリーンHD(7735)	(百万円、円)									
	売上高	増減率	営業利益	増減率	経常利益	増減率	税引利益	増減率	EPS	配当
18/3期	339,368	13.0%	42,725	26.7%	41,329	29.1%	28,507	18.0%	608.6	110.0
19/3Q1	72,541	-0.6%	5,100	-30.9%	5,108	-32.2%	3,566	-30.7%	76.4	0.0
19/3Q2	97,540	20.6%	10,088	5.8%	10,198	14.0%	6,019	9.1%	129.0	0.0
19/3Q3	82,337	17.1%	3,700	-46.2%	3,366	-48.6%	563	-87.1%	12.1	0.0
19/3Q4	111,816	-2.9%	10,757	-43.2%	10,607	-42.0%	7,911	-41.2%	169.6	97.0
19/3H1	170,081	10.6%	15,188	-10.2%	15,306	-7.1%	9,585	-10.1%	205.5	0.0
19/3H2	194,153	#DIV/0!	14,457	#DIV/0!	13,973	#DIV/0!	8,474	#DIV/0!	181.6	97.0
19/3期	364,234	7.3%	29,645	-30.6%	29,279	-29.2%	18,059	-36.7%	387.1	97.0
20/3Q1	58,230	-19.7%	-4,428	赤転	-4,285	赤転	-2,918	赤転	-62.6	0.0
20/3Q2会予	86,770	-11.0%	4,428	-56.1%	3,785	-62.9%	2,418	-59.8%	51.8	0.0
20/3H1期初会予	147,000	-13.6%	4,000	-73.7%	3,000	-80.4%	2,500	-73.9%	53.6	0.0
20/3H1修正会予	145,000	-14.7%	0	赤転	-500	赤転	-500	赤転	-10.7	0.0
20/3H2期初会予	180,000	-7.3%	22,500	55.6%	21,000	50.3%	15,500	82.9%	332.2	97.0
20/3H2修正会予	179,000	-7.8%	25,000	72.9%	23,000	64.6%	17,500	106.5%	375.1	97.0
20/3期期初会予	327,000	-10.2%	26,500	-10.6%	24,000	-18.0%	18,000	-0.3%	385.8	97.0
20/3期修正会予	324,000	-11.0%	25,000	-15.7%	22,500	-23.2%	17,000	-5.9%	364.3	97.0
20/3期DO予	324,000	-11.0%	25,000	-15.7%	22,500	-23.2%	17,000	-5.9%	364.3	97.0
21/3期DO予	355,000	9.6%	42,500	70.0%	40,000	77.8%	30,000	76.5%	642.9	120.0

年度	18/3期	19/3期	20/3期会予	21/3期 DO予
売上高	339,368	364,234	324,000	355,000
営業利益	42,725	29,645	25,000	42,500
経常利益	41,329	29,279	22,500	40,000
親株主帰属純利益	28,507	18,059	17,000	30,000
セグメント売上情報年度				
	18/3期	19/3期	20/3期会予	21/3期 DO予
SPE	227,182	252,511	219,000	241,000
GA	53,221	48,075	45,500	45,500
FT	45,213	49,254	46,000	55,000
PE	12,131	12,344	11,000	11,000
その他	1,619	2,047	2,500	2,500
合計	339,368	364,234	324,000	355,000

